

SATO SEIMEI

名前の読みから「せいめいさん」と呼ばれ、親しまれた

佐藤清明

さとうきよあき



25歳の頃の佐藤清明
(旧制第六高等学校生物学教室にて)

里庄の博物学者

日本で初めての妖怪事典『現行全国妖怪辞典』出版
植物学・博物学・民俗学など多様な分野で活躍

佐藤清明（さとう きよあき）とは（1905～1998）

明治38年、浅口郡里庄村（現里庄町）里見に生まれる。博物学者。第六高等学校、清心高等女学校（現ノートルダム清心学園）、岡山大学などで生物の教師として勤務する傍ら、化石・岩石・鉱物・昆虫・植物などの標本と文献の収集及び調査研究を続け、県内の生物関係の文化財調査を行った。20代の時に民俗学に興味を持ち、日本で初めての妖怪事典を出版。昭和55年勲五等双光旭日章受章。



ナナイロガシ
（七色櫨）
鏡野町産
県指定天然記念物

植物学

1万点の植物標本を採集

多岐にわたる研究分野の中でも、特に植物には深い関心を寄せ、自ら植物採集を行うとともに、北海道から沖縄まで各地の研究者たちと標本を交換し、約1万点に及び貴重なコレクションを築き上げる。また、県内各地の植生調査や植物方言の集成、植物に関する幅広い研究を行う。

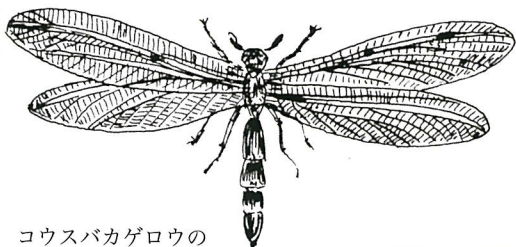
博物学

岡山県内の自然全般にわたる調査研究

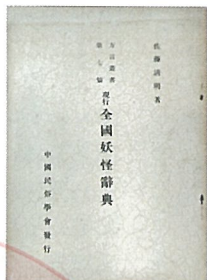
化石・岩石・鉱物・昆虫・植物など、岡山県内の自然全般を対象とした調査研究や文献・標本の収集を精力的に行う。これらの成果は、教育普及活動や著述にも生かされている。



エヒメアヤメ



コウスバカゲロウの
スケッチ



現行全国妖怪辞典

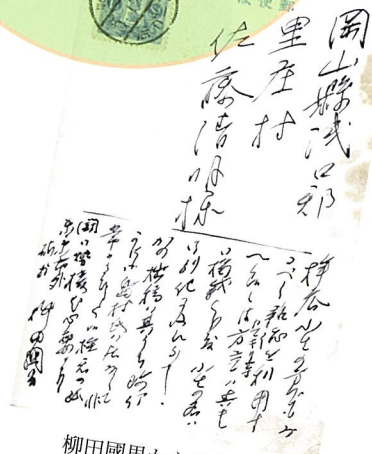
民俗学

日本で初めての妖怪事典
『現行全国妖怪辞典』を
出版(1935年)

柳田國男に先駆け、全国各地
に残る妖怪の名称を集めて妖
怪事典として発表する。また、
メダカやオタマジャクシ、ス
ミレなどがそれぞれの地方で
どう呼ばれているのか調査
し、方言集にまとめる。

多くの文化人 との交流

牧野富太郎(植物学者)、柳田國
男(民俗学者)、南方熊楠(博物
学者)などと標本や書簡のやり
とりなど活発な交流をする。



柳田國男からの書簡



エヒメアヤメ

岡山県絶滅危惧種
昭和28年に横溝
熊市氏が発見し、
佐藤清明が確認す
る。

天然記念物の 調査・研究

天然記念物の調査を継
続的に行い、自治体の
天然記念物関係の出版
物に多く関わる。
岡山県文化財専門委員
として文化財総合調査
を行う。

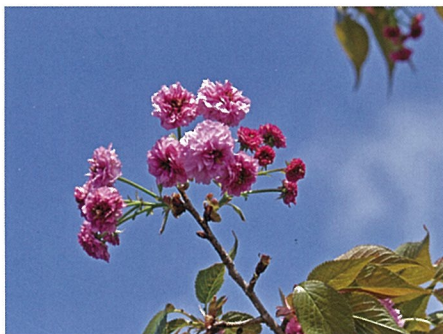
国指定特別天然記念物
オオサンショウウオ

『第2回里庄のせいめいさん展』開催

日時：平成30年7月1日～8月30日 午前9時～午後7時
(日曜・祝日は午後5時まで／毎週火曜日・月末・第三日曜日は休館)

場所：里庄町立図書館 1階ロビー

内容：希少な植物の写真・手描きの植物のスケッチ
初公開の著作物など



キクザクラ（菊桜）

明治35年(1902) 第六高等学校の大渡教授が発見し、同校に植えられていたが岡山空襲で焼失。幸い清明が自宅に保存していたものから、現在は皇居、岡山後楽園、岡山朝日高校などで見ることができる。清明が昭和27年に昭和天皇に献上した。

■ 佐藤清明資料保存会 ■ 事務局：里庄町立図書館
いっしょに活動してみませんか！

「佐藤清明特設サイト」

里庄町立図書館 検索

ホームページ <http://www.sl-net.town.satosho.okayama.jp>

佐藤清明関連記事や活動報告などを掲載

〒719-0301 岡山県浅口郡里庄町大字里見 2621 番地

TEL：0865-64-6016 FAX：0865-64-6017

E-mail：sl-net@sl-net.town.satosho.okayama.jp

発行：里庄町教育委員会 編集：里庄町立図書館 デザイン & 写真：徳山 容

発行日：平成30年6月1日